

協議会名	教委名	委員長名	教育長名	委員数	事務局職員数	幼稚園	小学校	中学校	市町村立高校	公民館本館	分館	図書館
双葉	広野町 野田町 榑富川 富岡町 大内村 双葉町 浪江町 葛尾村	田村 弘	松本 義雄	5	2	・	1(1)	1(1)	・	・	・	1
		青木 一雄	宇佐神正文	5	3	・	2(4)	1	1	1	1	
		深谷 西教	堀川 利八	5	3	1	2(1)	2	・	1	・	
		猪狩 一	猪狩 留男	5	3	・	3(1)	1	・	1	8	
		林 繁光	吉田 正雄	5	3	・	2(1)	2	・	1	18	
		横山 巖	小野田 恵助	5	2	・	2	1	・	1	・	
		馬場 善時	門間 経義	5	8	・	7(3)	6(1)	・	1	5	
		大山 鐘三	松本 弥平	5	2	・	1(1)	1	・	1	・	
相馬	新地町 鹿島町 高馬町 小相馬町 原飯館村	阿部 義悦	佐藤 洋一	5	2	・	3	1	1	・	・	4
		佐々木 勉	塙 正夫	5	3	・	4(2)	2	1	・	・	
		松本 安義	齋藤 勝	5	3	4	4	3	1	2		
		加藤 政蔵	沢田 栄	5	15	3	10(1)	5	1	8		
		鈴木 将武	林 正	5	14	・	7	4	5	・		
		渡辺 将汝	菅野 智一	5	4	2	8(1)	3	2	・		
		江尻 卿	大和田道隆	5	70	11	70(15)	40	1	36	26	
		いわき市	いわき市	江尻 卿	大和田道隆	5	70	11	70(15)	40	1	

3 昭和44年度市町村教育委員会育成指導の概要

県教育委員会は、教育事務所を通じ市町村教育委員会の事務局職員研修会、教育委員研修会（本年度は、教育委員県大会が開催されたので中止）、および市町村教育長研修会等を開催し、必要な指導助言を行なうとともに、昭和45年度予算編成に対する要望事項・昭和43年度市町村教育費の実態に関する資料を配布し、市町村の育成強化につとめてきた。

(1) 市町村教育委員会事務局職員研修会

① 昭和44年度市町村教育委員会事務局職員研修会要項

ア. 趣 旨

社会情勢の変化と教育行政の近代化にともない、教育行政事務は、ますます複雑多岐となり、関係職員のすぐれた事務能力と、公務員としての正しい姿勢が求められる情勢にかんがみ、市町村教育委員会関係職員の資質と事務処理能力を高めることを目的とする。

イ. 主 催

福島県教育委員会、福島県市町村教育委員会連絡協議会

ウ. 期 日

昭和44年9月12日（12時30分）～9月13日正午

エ. 会 場

福島市市民センター（飯坂）

オ. 講師、助言者

文部省初等中等教育局地方課	文部事務官
	黒川 征氏
福島県総務部人事課主任主査	鷹尾 勲氏
県教育庁総務課長	遊佐 恭平氏
県教育長総務課主幹	渡辺 政三氏
県教育庁総務課行政係長	石井 広中氏
県教育庁総務課指導主事	星 正氏
外各課関係職員	

カ. 研究会内容

●第1日

当面する地方教育行政の課題
 県教育庁総務課長 遊佐 恭平氏
 地方公務員制度の本質について
 文部省初等中等教育局 文部事務官
 黒川 征氏

●第2日

市町村教委事務処理上の問題点 各課関係職員担当
 事務管理の重点について（主として電子計算機について）

県総務部人事課主任主査 鷹尾 勲氏

4 昭和44年度市町村教育委員会教育長研修会

ア. 目 的

市町村教育委員会の当面する教育行政施策の企画、運営に関する諸問題についての理解を深め、最近における教育行政の動向に適應する文教施策の適正な運営に資し、教育行政の充実をはかる。

イ. 主 催

福島県教育委員会、福島県市町村教育委員会連絡協議会

ウ. 期 日

昭和44年10月1日(木) 午後1時～
 10月2日(木) 正午

エ. 会 場

婦人会館

オ. 研 究 主 題

当面する教育行政の諸問題

カ. 講師、助言者

外務省アメリカ局安全保障課長	松原 進氏
福島県教育庁教育次長	大塚 喬清氏
福島県教育庁総務課長	遊佐 恭平外各課長
福島県教育庁総務課主幹	渡辺 政三氏外
福島県教育庁高等学校教育課管理主事	佐藤 昌志氏

キ. 研修会内容

- 日米安全保障条約について（講演）
 外務省アメリカ局安全保障課長 松原 進氏
- 教育行政上の問題について（質疑応答）
 総務課長 遊佐 恭平氏（司会）
 各課長
- 地方公務員の最高裁判所の判決について（講義）
 福島県教育庁高等学校教育課管理主事
 佐藤 昌志氏